

令和7年度志木市立志木第三小学校 第2回 学校運営協議会議事録

1. 開催日時

令和7年7月22日（火） 15:30～16:45

※14:00～15:30は学力向上研修（全国学力・学習状況調査に関する分析及び協議）を実施し、委員6名も参加した。

2. 会場

志木市立志木第三小学校 展示室

3. 出席者

会長：宮原 一

委員：湯本 恭規・市川 裕美子・中田 裕規

嘉永 秀恒・岡 和香子（志木第三小学校 校長）

事務局：金山 和生（志木第三小学校 教頭）・村上 亮（志木第三小学校 主幹）

4. 内容 ※会長挨拶及び校長挨拶は学力向上研修にて実施。

①開会

②協議

（1）1学期の教育活動について（校長）

- ・令和7年度当初に「学級・学年・学校経営の充実」を重点目標とし、大切な視点として「学級・学年・学校運営の充実」、「ワンオペレーションから協働へ」、「一方向から双方向へ」という視点を掲げた。教職員一同、掲げた視点を心がけた学年・学級経営、生徒指導対応や学習指導に取り組んでいる。
- ・「学習形態の工夫」には、配置されている人材を生かして取り組んでいる。本校にはコネクト教員、スマート教員、専科教員加配、支援員、ICT支援員や小1問題対応教員が配置されており、充実している。志木中学校から派遣されるコネクト教員（中学校教員）にも、T1として授業をしてもらっている。
- ・教職員の新しい教育実践（チャレンジ）については、個々の教員が児童の実態に合わせて積極的に取り組んでいる。1学期は外部講師を活用した出前授業を2・4・5・6年生が実践した。2学期以降も積極的に取り組めるよう教員をサポートしていく。

（2）令和7年度運動会アンケート結果について（教頭）

- ・質問1（児童がめあてを達成できたか）については、肯定的な意見が100%となった。
- ・質問2（プログラム構成は見直しの必要があるか）については、様々なご意見を頂いた。
- ・頂いたご意見については、各主任を中心に可能なものについて改善を図る。

（3）学校評価（教職員中間評価）について（教頭）

- ・「⑤伝え合う活動を工夫した授業を展開」、「⑦タブレット端末の活用」、「⑩児童の積極的な挨拶」、「⑪学校は、令和7年度より本格実施となった小中一貫教育の取組を着実に進めている。」の4つの質問について、「どちらかというとできていない」と回答した職員がいた。
- ・今後、児童、保護者、学校関係者向けの学校評価を実施していく。

(3) 質疑応答等

○1学期の教育活動について

- ・小1問題対応教員の具体的な支援にはどのようなものがあるか。
- 学習支援・生活支援・登下校補助等多岐に渡る。9月末までの配置予定となっている。
- ・小1の児童が抱える共通的な課題に対して、いろはさくら学園内の志木小学校との連携はあるのか。
- 今後合同研修会が開催されるので、幅広い視点で連携を検討していく。

○令和7年度運動会アンケート結果について

- ・開催時間について様々な意見が見られる。
 - ・学校としての明確な理由をもとに実施時間等は決めていく必要がある。
- 今後も体育主任を中心に検討していくが、児童の体力面、天候面等を考慮して検討している。理由を明確にしたうえで、職員全体で共有しながら実施していく。

○学校評価（教職員中間評価）について

- ・「あまりできていない」という回答については、職員個人ができていないのか、学校全体ができていないのかにより、対応や支援方法が異なる。回答については詳細に把握してほしい。
- その通りである。集計結果をさらに細かく分析していく。
- ・タブレットが児童に配備されて数年たつが、整備状況はどうか。
- 現時点では大きなトラブルはないが、データの容量が小さいため活動のしにくさがある。
- 今後、市で買い替え等の措置が取られていく予定である。

○学力向上研修（全国学力・学習状況調査に関する分析及び協議）について

- ・全国、埼玉県と比較する分析を本日は行っていたが、本日取り上げられた以外の視点についても研修してほしい。答えではなく、答えに辿り着くまでの過程を求めている問題が多い印象だった。
- ・今回のような研修は、年間としてどれくらい確保できるのか。普段からの研修として職員に確保した方がよい。

⑤事務連絡

- ・今後の予定について

⑥閉会